



# あじさいネット OFF LINE 通信

## vol. 5



野母崎の水仙と軍艦島

写真提供：野川 辰彦 先生(済生会長崎病院 院長)

### 目次

年頭所感 あじさいネット会長	小尾 重厚 先生	2
会員様の声		3
おおすみ内科医院	大角 光彦 先生	4
ハシモト耳鼻咽喉科医院	橋本 清 先生	5
久原薬局	菱輪 博徳 先生	6
情報提供病院のご紹介		
済生会長崎病院 地域連携推進室		7
井上病院 診療支援・地域連携室		8
あじさいニュース 第5回「あじさいネット」記者会見		9

### 現在の運用状況

(平成 24 年 12 月 15 日現在)

患者登録数	24,806 名
(全件あじさいネット説明同意書取得済み)	
会員数	276 名
情報閲覧施設数	164 施設
(内、薬局数 24)	
情報提供病院数	17 施設

### 賛助会員

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- 三菱化学メディエンス(株)
- 富士通(株)長崎支店
- (株)NTT データ ライフサポート事業本部

### 基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会

## 『年頭所感』

あじさいネットワーク会長 小尾 重厚 先生

「今年は更なる飛躍の年になるものと確信しています。」



NPO 法人  
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会会長

小尾 重厚 先生

■大村市医師会会長  
■医療法人 おび産婦人科医院 院長

あじさいネットが、長崎県全体をほぼ網羅した事に伴い、十一月二十六日に記者会見を行いました。その際に話しました内容を抜粋し、新春の御挨拶と致します。

日本の医療は、世界に誇る公的国民皆保険制度のもとに、保険証一枚持参すれば、「誰でもが、いつでも、どこでも、安心して医療機関を受診できる」制度のもとに運営されていますので、患者さんは、目的に応じて種々の医療機関を自由に受診する事が出来ます。

この医療保険制度のもとに、「あじさいネット」は、基幹病院と地域の医療機関をITネットワークでつなぎ、多くの医療情報を共有する事で、医療の効率化を図るとともに、「患者さんがお住まいの地域のどの病院を受診しても、切れ目なく安心して医療を受けられるシステム」、「医師会会員であれば、誰でもが、簡便に参加できるシステム」を目指し、発足いたしました。平成一六年十月に大村・諫早地区を

中心に始まったあじさいネットは、約四年後には長崎市医師会や離島の施設も加入し、今回、佐世保市医師会の参加によって、名実ともに、長崎県下をほぼ網羅するIT医療連携ネットワークへと成長いたしました。

システム等が、長崎県、長崎県医師会他、関係機関と協同して計画され、進行しています。従来、夢のような世界であったシーンがまさに現実化されようとしています。

これらの取組みにより、従来の病院完結型医療から、互いに顔が見える、地域全体で様々な施設が連携して患者さんを診る医療、いわゆる地域完結型医療への転換を図れるものと思えます。

我々と致しましても、このあじさいネットワークを更に発展充実したものとし、地域住民の方々が安心して医療を受けられるように、鋭意努力していく所存であります。

平成二十四年 吉日



あじさいネット  
利用風景

小尾先生は、立上げ時よりあじさいネットユーザーです。普段の診療に役立っています。

昨年、NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会、呼称「あじさいネット」にとりまして、画期的な一年となりました。平成二十四年十月一日の佐世保地区での運用開始により「あじさいネット」が、ほぼ県下全域に展開される運びになった事は、当初からこの事業に関わってきた者の一人として、感慨深いものがありました。既に各地域部会で、夫々の地区での運営も開始されています。今年は今更なる飛躍の年になるものと確信しています。



地域の医療資源の有効活用には「あじさいネット」は欠かせません。



・DOCTOR'S PROFILE・

H元年 慶応大学医学部卒  
H20年 おおすみ内科医院を継承  
H20年よりあじさいネット会員

■諫早医師会理事

あじさいネット立上げ時、長崎医療センターで内科医長をしていました。以前から医療連携ネットワークには興味がありましたし、あじさいネットの準備段階から関わっていたので、開業時は自然の成り行きで入会しました。

**病診連携、診診連携を積極的にしています。そのツールとして、あじさいネットは普段から利用しています。**

地域の医療資源をより有効に活用して診療を行っていきたくと考えています。そのため病診連携、診診連携は普段から積極的にを行っています。紹介は日常的ですから年間千件くらいになっていると思います。

そんな中、あじさいネットは普段からよく利用しています。長崎医療センターなど基幹病院に紹介して、MRI、CTの画像を参照

諫早市山川町

おおすみ内科医院

おおすみ

みつひこ

大角 光彦 先生

TEL : 0957-26-5377

し、同時に専門医の読影結果を確認しています。

また、当院でその患者さんを今後どうマネージメントしていくかを考える時、合併症など付随した問題を持つている方が大勢いらっしゃるのでも総合的に診る必要があります。あじさいネットを利用すると、多くの情報の中からこちらが求める情報を的確に把握する事ができます。他には、かかりつけの患者さんが緊急入院した時の経過を把握し、見舞いに出掛けたり、患者及びその家族に説明したりすることもあります。

●あじさいネットに期待すること

双方向性の情報のやりとりを

例えば当院のカルテ情報や検査データを医療センターから参照してもらおうといったことがあじさいネットを通してできれば、紹介する場合も紹介状を簡略化できます。

災害時の対策に

あじさいネットを

去年の震災時にすぐ思ったことは、災害時に備えてカルテ情報を一元的に集約する必要があります。震災では多くの医療機関が機能しなくなり、カルテも失われました。被災者の中にはそれぞれ色んな病気を持つ方がおられ、そんな時に「どういう病気か?」「どういう薬を使っていたか?」といった事が誰も分からないことが発生しました。初対面の患者さんで例えば「糖尿病の薬飲んでいました」と

言われても、どの程度の糖尿病であって、どういふ薬が必要かはすぐには判断できません。そこで、高セキュリティなネットワーク上で一元的にカルテ情報を集約し、それらを更にバックアップをとっていたら大災害が起こってもその患者さんのことがすぐ分かり対処できます。そういった視点からもあじさいネットは非常に有効だと思えます。

Q. 信条を教えてください!



長崎医療センターの看護理念に「その人がその人らしく」というものがあります。それは提供する側の考え方や方針とかではなくて、「その人がその人らしく人生をまっとうするためのお手伝いをする」ということが医療の本来の在りかたであるというものです。

例えば救急で基幹病院に搬送されてきた患者さんと基幹病院の医師はそこで初めて出会うことが多いわけです。このため患者さんがどう思われているのか(「どういった治療を望まれているか」)分からないまま救急処置、延命処置を行わざるを得ない場合があります。

私たち開業医は、長い年月その方のかかりつけ医になります。そうした中で普段からコミュニケーションをとり、お互い理解し合い、その方が求めている医療を実践していく訳です。自分のところに縁があって来られている患者さんに対して、その人がその人らしく人生をまっとうするためのお手伝いをしていきたいと、そう思っています。

当院(耳鼻咽喉科)では、「CT、MR、画像診断」を有効活用しています。



・DOCTOR'S PROFILE・

H6年 久留米大学医学部卒  
 H16年 ハシモト耳鼻咽喉科医院院長に就任  
 H21年よりあじさいネット会員  
 ■あじさいネット運営委員  
 ■長崎市医師会理事  
 ■長崎市医師会情報処理委員会 委員

長崎市医師会が「あじさいネット」に  
 入会した時から利用しています。

長崎市医師会が、様々なシステムが混在する  
 中で、新たに導入する医療連携ネットワークシ  
 ステムとして「あじさいネット」を選定し、入  
 会したのは平成二十一年のことです。

あじさいネットに入会前の準備段階時、ちょ  
 うど私は長崎市医師会の理事に就任し、情報処  
 理の担当でもありましたので「あじさいネット」  
 導入のパイロット(水先案内人)にならねばと  
 思いました。その当時、システムの選定、評価、  
 医師会員への周知について担当の先生方と熱論  
 を重ねたことを思い出します。

「あじさいネット」は、  
 かかりつけ医だからこそ活用できます。

あじさいネットを利用して、情報提供病院で  
 の高性能な医療機器による、CT、MRI、画  
 像診断を見えています。それらを複合的に見るこ  
 とにより診療に役立てています。

長崎市栄町

ハシモト耳鼻咽喉科医院

はしもと  
橋本

きよし  
清

先生

TEL : 095-822-2906

また、利用してこういう使い方もあるなど  
 思ったのは、私の知人のお父様が脳梗塞を起  
 こして十善会病院に入院をした時、その知人  
 は遠方にいるので状況が分からず困っていま  
 した。そのお父様は、当院の患者さんだった  
 ので、同意書を私がとって、ここであじさい  
 ネットを見ながら、知人に私が電話で説明を  
 すると、安心してくれましたね。なかなか面  
 識のない大きな病院の主治医に直接、電話は  
 かけ難いですよね。その辺で私に聞きやすい  
 というのはあったと思います。

患者さんのご家族が遠方にいらつしやる場  
 合など、かかりつけ医としては、こういうサ  
 ポートのし方もあるのだと思いました。

在宅医療でも「あじさいネット」を

長崎市には「在宅ドクターネット」があつ  
 て、在宅医療のネットワークが整備されてい  
 ます。私は耳鼻科です所以在宅主治医になる  
 ことはありませんが、協力医として主治医の  
 先生方から耳鼻科のご相談ごとがあつた時に  
 在宅医療の現場に診療に向かいます。

将来、在宅医療の現場であじさいネットを  
 有効に利用できたらと思います。

それが一部動き出してはいますが、今は在  
 宅医療の現場を訪問した際、患者さんのご自  
 宅のベッドサイドで記事を書き込む事はでき  
 ず、一回ステーションに帰ってきて書き込ま  
 なくてはなりません。在宅医療の現場で直接  
 記事を書き込めて、情報共有するということ  
 が、あじさいネットで実現できればと思いま  
 す。具体的には現場で記事を書き込み、それ  
 らがサーバーに残っていく、それを在宅医療

橋本 清 先生にお聞きしました！

・・座右ノ銘・・

人生めりはり(減り張り)だと思っています。  
 がつつと仕事して、オフはだらっとゆるむ。あまりにも  
 忙しいので、私が家族と晩御飯を食べるのは週に一回く  
 らいです。だから日曜日とか休みの日とかは子供たちと  
 釣りとかに行くようにしています。

Q. 「おくんちは」、どちらにはいるんですか？  
 A. 両方ですね。演技を観ているときは「張り」かもしれ  
 ないですね。  
 \*先生は樺島町の『ココロデショ』のチームドクターもさ  
 れています！

・・趣味・・

サッカー観戦ですね。V・ファーレン長崎です！  
 Q. どれくらいお好きなのですか？  
 A. 看板出すくらい。後援会にも入っています。  
 それからデジタルカメラとルアー釣りも楽しんでいます。

●今後「あじさいネット」に期待すること

現在、長崎市の南部から駅前を通って北部に  
 行くまでの道筋しかネットワークになってない  
 ですよ。田上地区とか東長崎地区とか全然な  
 いでしょう。当院は東長崎地域の患者さんも多  
 いですから、例えば、千綿病院とか諫早市と長  
 崎市の中間にあるような西諫早病院といった病  
 院が情報提供してくださるようになるといひ  
 すね。今後、徐々にネットワークが網羅してい  
 くことを望んでいます。

現在、長崎市の南部から駅前を通って北部に  
 行くまでの道筋しかネットワークになってない  
 ですよ。田上地区とか東長崎地区とか全然な  
 いでしょう。当院は東長崎地域の患者さんも多  
 いですから、例えば、千綿病院とか諫早市と長  
 崎市の中間にあるような西諫早病院といった病  
 院が情報提供してくださるようになるといひ  
 すね。今後、徐々にネットワークが網羅してい  
 くことを望んでいます。

「あじさいネット」の有効利用が、薬局薬剤師のレベルアップに！



蓑輪 博徳 先生 PROFILE・

S48 年 福岡大学薬学部卒  
 S62 年 開局  
 H21 年よりあじさいネット会員  
 ■大村東彼薬剤師会会長

大村東彼薬剤師会では平成二十一年5薬局で試験運用を開始しました。

平成十九年、大村市医師会の先生方から、大村東彼薬剤師会も今後あじさいネットを利用して、服薬指導に役立てていつてはどうかとご助言を頂きました。そこで、当時の大村東彼薬剤師会の諏訪会長と話し合い、まずは5薬局で試験的に運用を開始することにしました。

役立った事例のご紹介

主治医の先生とコミュニケーション不足だと相談された患者さんが数人おられました。あじさいネットを利用すると、情報を通して主治医の先生の治療方針がおよそでは有りませんが感じ取ることができると、そういった際には、あじさいネットに同意して頂き、検査結果なども見ながら、患者さんが気になっている事について、分かりやすく説明を行う事が出来ました。

大村市久原  
久原薬局

み の わ ひろ の り  
蓑輪 博徳 先生

TEL : 0957-52-6428 e-mail : hmno@poem.ocn.ne.jp

また、メールを活用することができるのも、あじさいネットの大きな強みだと感じています。患者さんが主治医の先生に伝えて欲しいことを、私から主治医の先生にメールで問い合わせた事もしばしばありました。

薬局の存在意義を高める  
「あじさいネット」

私は、あじさいネットを有効利用することは、これまでの町の薬局での薬剤管理指導や処方監査が根底から変わり、薬局薬剤師の質を高めると共に、患者さんや主治医の先生から信頼を得て、薬局の存在意義を高め、生き残ることにつながると考えています。

大村東彼薬剤師会としては、あじさいネットを積極的に広めていきたいと考えています。私も大村東彼薬剤師会管内は、基幹病院が全て情報提供病院になっておりますのでより多くの薬局参加を推進していますが、残念ながら、参加率は一割にとどまっています。その原因は、コストの問題が大きいので、今後、費用対効果をより明確に提示していくことを検討しています。

●あじさいネットに期待すること

当薬剤師会では、「日本薬剤師会学術大会」や、「九州山口薬学大会」であじさいネットについて発表してまいりました。その際に多く受けた質問は【病院や診療所のカルテは見せてもらえるのか？】【薬局間の情報共有はできないのか？】といった事でした。現状ではセキュリティの問題や、医師、薬

剤師の先生方の考え方の相違、資金の問題等、乗り越えるべき問題が多々あります。今後、あじさいネットが更に普及していき、これらの諸問題が少しずつ解決して、利用の幅が更に広がっていただければと思います。

・あじさいネットに思うこと

私の薬局では、以前は薬剤師が私一人だったため、あじさいネットの参加同意の説明になかなか時間が取れず、登録できた患者さんは少ない状況にありました。現在は、薬剤師が数名おられますので、これからは、もっと患者さんと向き合って「あじさいネット」を利用することへのメリットをじっくり話していきたいと考えています。

また、患者さんになかなか同意してもらえない場合があります。私の技量にもよるのでしょうが、私の薬局で同意して頂いた患者さん方の多くが、「主治医の先生にあじさいネットの話を聞きました。」と言われ、既にあじさいネットをご存知でした。主治医の先生方には、お忙しいところ恐縮ですが、患者さんに「あじさいネットは薬局でも利用できますよ。」と一言伝えて頂ければ幸いです。

■モットー

「患者さんの気持ちになって、お話をしよう」

患者さんが、どういうことを尋ねたいのか、今どういう状況にあるのか、患者さんの気持ちや立場をよく考えながら、お薬の説明をする事がモットーです。

ずっと一人で薬剤師をしていたものですから、新しい患者さんは別にして、昔から来られる患者さんは性格とか家族状況など全部存じ上げていますから、その人にあったお話しをしています。

■大村東彼薬剤師会のHPは、リニューアルして、一段と見やすくなりました！

# 情報提供病院のご紹介

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

## 済生会長崎病院 地域連携推進室

済生会長崎病院は平成 22 年 5 月に情報提供をスタートしました。

「当院とかかりつけ医」、互いの得意分野を生かし、患者様にとって「何が最良か」を常に追求します。

のがわ たつひこ

### ◆◆ Message / 野川 辰彦 院長 ◆◆



#### DOCTOR'S PROFILE

S48 年 長崎大学医学部卒  
専門：外科  
H22 年より現職

### 逆紹介率 100% を目指して

当院は地域医療支援病院ですので、その役割としてかかりつけ医の紹介は断らない、そして積極的な逆紹介の推進を行っています。特に、今からは「地域医療完結型の時代」ですから、逆紹介を積極的に進めて逆紹介率 100% を目指しています。合同会議といった場でも関連したデータを示し啓蒙に努めたり、患者さんが移動する際には必ず自己の診療歴を持つて移動して頂くようにしています。これらの取組みにより、徐々にですが逆紹介数は増加しています。

### お互いの長所を生かした 共同診療を提供したい

当院では入院に出来る限り特化して、入院での検査、治療を重点的に行い、安定した患者さんや慢性的な病気などは、かかりつけ医にお願いし、定期的にかかりつけ医から当院に紹介して頂き詳しい検査や必要に応じて入院を行うようにしています。

### 例えば糖尿病の場合、6ヶ月毎にかかりつけ

医から当院に紹介して頂き、血糖値等の推移を診ます。糖尿病の患者さんは癌の発生率が高いですから、必要に応じて内視鏡検査等を行い、正しく評価し、場合によっては入院をスムーズに行う態勢を整えています。定期検査後は、糖尿病についての教育をして、またかかりつけ医にお返しするようにしています。こういった取組みは、心筋梗塞などでも予定しています。

### あじさいネットでカルテを共有する

一般にカルテは一元管理が良いといわれています。以前は診療科毎だったカルテが、現在では病院全体で一冊になりました。急にはなかなか難しいですが、将来的にはあじさいネットでカルテを一冊作って地域で共有できたらと思います。患者さんがどの病院を受診しても、その一冊のカルテに症状や治療内容等を継続的に付記していくのです。そういったことができれば他院にかかった記録も全部残りますから、より安全で良質な医療が提供できます。特に薬の処方や慢性疾患の把握に有効だと思います。どういう病気を持っているのかを、外来診察で充分聞き出すことができな場合も多いので、地域でカルテが1冊なら正確に把握することができますし、また別の病気ができた時も見逃しがないですね。

### Q. 病病連携についてどうお考えでしょうか？

ケースによっては非常に重症なため、大学に紹介することもありますので有効だと思います。あじさいネットを通してこういう治療がされているのかを見ることによって、こちらの勉強にもなると思っています。

院長は、学生時代から写真が趣味とのこと。今回表紙の写真をご提供頂きました。



野川院長と地域連携推進室スタッフの方々

あじさいネットの登録作業は、スタッフ全員対応できるようにしています。不具合が生じた時は、ミーリングで会員の皆さまにお知らせすると共に、情報管理室と連絡を取り合い、大体内で解決しています。

### ● 地域連携推進室より

#### 《診療所の先生方へ》

当院の前院長からの方針で、救急の際には同意書の代理取得を行っています。救急で来られた際に、患者さんからかかりつけの先生にも連絡をしてほしいという要望があった場合や、かかりつけの先生から依頼がある場合は、当院であじさいネットの説明と同意書の取得を行っています。その際は、かかりつけの先生のサインを頂くため、当院から原本を送り、返送して頂くようになりますので、少々お時間がかかります点をご了承下さい。

#### 《改善してほしい点》

あじさいネットの操作説明書があれば助かります。登録の際にアクセス権設定と患者登録時に医療機関を選ぶところがありますが、選ぶのが多数あるので、ソートしやすいようにと、画像の取り込み時間がかかりますので、もう少し早くなればなと思います。

# 情報提供病院のご紹介

社会医療法人 春回会

## 井上病院 診療支援・地域連携室

井上病院は、平成22年5月に情報提供をスタートしました。

「こまわりがきく、高齢者にも対応できる急性期病院」を病院目標に掲げています。

いずみの きよひろ

### ◆◆ Message / 泉野 清宏 病院長代行 ◆◆



#### DOCTOR'S PROFILE

S62年 長崎大学医学部卒  
専門：内科、糖尿病代謝  
H24年より現職

連携室を立ち上げ、時を経るにつれ、当院としての課題がみえてきました。当初はオープンシステムによる病床や病院施設の利用を連携室の主な機能とする、いわゆる『前方連携』でしたが、慢性疾患や高齢者医療が増加した社会では『後方連携』が重要になっていきます。

**地域の患者さんが安心してできる医療を提供することを目標に連携室を運営しています。**

急性期医療では、病床の開放だけでなく、消化器検査やCT、MRI、手術など病院施設を有効に共同利用して頂くことができます。また高齢者医療や慢性疾患に対しては、病診連携体制を整えておりますので、より地域で患者を支える医療の提供を行います。

**長崎市内で最初に「開放型病床」と「地域連携室」を開設しました。**

患者さんを地域で診るといふ立場から、『後方連携』では、当院で行うべき医療が一段落したら、キチンとした情報提供を行いながら地域に密着した医療機関に継続治療をお願いします。そこで、病床や病院施設のオープン化と共に、『医療の前方・後方連携』を充実させるべく、この九月より新たな連携室に移設致しました。連携室は専属の看護師長のもと、ソーシヤルワーカー4名、退院支援や後方連携をスムーズにするための看護師1名、診療を支えるアシスタント1名、院内事務1名、後方連携のための事務1名で運用しています。

**患者さんの切れ目ない治療のために、「あじさいネット」を使いスムーズな連携を**

患者さん、医療側双方にとつての良い医療とは、患者さんはまず近くの開業医に受診する、そして必要があれば、専門医あるいは病院を紹介して診てもらおう、病院の医療が一段落したら再び開業医のもとでケアを続ける。こうした病診連携がもつとも良いと考えられます。そのためには、患者さんの申送りを十分行って、隙間のないスムーズな連携が欠かせません。その一つの手段として、あじさいネットは大変有用だと考えます。紙や口頭による診療情報よりも病院での経過や結果が分かりやすいため、後方連携と、その後の継続した治療がしやすいと考えられるからです。

あじさいネットが多くの診療科の先生方に普及し、また施設などでも利用されるようになる、ブレない治療方針の下で患者さんが安心して療養できると思います。今後のあじさいネットの発展に期待しています。

#### ● 診療支援・地域連携室より

地域の医療機関の先生方と当院をつなぐパイプ役として入院・外来・検査の予約等受け入れ経路を一本化し、円滑でより連携の取りやすい体制を目指しています。

#### 《診療所の先生方へ》

患者様の自署が読みにくい同意書が時折あります。そういった際に、欄外にでもフリガナを書いて頂ければ入力の際に助かります。

#### 《障害発生時の対応》

システム担当から業者の方に連絡し、その時点で解決できない場合、富士通にご対応頂いていますが、時間が多少かかることがありますので、より早急な対応をして頂ければ助かります。

#### 《その他》

登録した内容が、登録完了のファックス用紙に反映する機能があれば便利です。

先生方から画像を取り寄せてほしいという問合せがありますので、病診連携が実現して病院間で画像が見れるようになればと思います。

六甲おろし♪が聞こえてくると熱くなります！



泉野病院長代行と診療支援・地域連携室スタッフの方々

ご紹介頂いた患者様の情報は、退院日、もしくは翌日までに、担当よりクリニックへ直接お届けし、お顔が見える「face to face」の関係作りを大切にしています。

佐世保市の運用開始により、あじさいネットはほぼ全域に拡がりました。  
 これに伴い、11 月 26 日(月)18 時半より大村市医師会館にて発表記者会見が行われました。



記者会見の様相 会場：大村市医師会館 1 階 講堂にて

### 記者会見にご出席頂いた方

写真右より、

- 長崎労災病院 院長 横山 博明氏
- 佐世保共済病院 院長 木寺 義郎氏
- 佐世保中央病院 院長 植木 幸孝氏
- 佐世保市立総合病院 院長 江口 勝美氏
- 佐世保市医師会 副会長 横山 一章氏
- 長崎県 福祉保健部 部長 濱本 磨毅徳(代理)福祉保健部 次長 藤田 純次氏
- NPO 法人 長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会 会長 小尾 重厚氏
- 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療情報学 准教授 松本 武浩氏
- 市立大村市民病院 医療情報企画部長 麻酔科 医長 柴田 真吾氏/司会・進行



記者会見の様相は、各テレビ局のニュースで放映された他、大手医療情報サイト、「m3.com」のニュース・医療維新のコーナーにも大きく取り上げられました。

### 《佐世保地域代表》佐世保市医師会 副会長 横山 一章

米満理事が中心となって医師会としての加入を検討してきました。準備委員会を立ち上げ、説明会を開催し、会員に周知を図ってきました。その結果、あじさいネットに興味を示す会員の方が多数いらっしゃるようになりましたので、佐世保市医師会としてあじさいネットに参加することにいたしました。10 月 1 日より、佐世保市立病院と佐世保中央病院が本格的に運用を開始、現在のところ順調に運用しています。

### 《佐世保地区情報提供病院代表》佐世保市立総合病院 院長 江口 勝美

今回、佐世保市医師会を始め、多くの方々の努力によって、佐世保及び県北にもあじさいネットが導入されました。佐世保市立総合病院と佐世保中央病院は、今年の 7 月から、佐世保共済病院は 11 月から運用を開始しました。長崎労災病院は年度内には開始予定です。現在のところ順調な運用ができております。また、病院と薬局の連携も少しずつではありますが増えてきております。今後、私どもとしましても、対馬などの離島とあじさいネットを介した病診連携をやっていければと、非常に期待をしております。

### 長崎県福祉保健部 次長 藤田 純次

県としては、あじさいネットは地域医療の質向上に極めて有効なツールと考えており、大村、長崎地区での拡がりを更に県下全域に拡大していきたいとの思いから、地域医療再生基金を活用いたしまして、佐世保の 4 基幹病院に対し、情報提供病院としての環境整備にかかる助成を実施したところでございます。尚、地域の拡大とともに機能の拡充についても、地域医療再生基金により支援を実施しております。今後、テレビ会議、周産期システム、在宅医療支援システム、遠隔画像診断システムといった新機能が新たに追加される予定となっております。今後も、県民が安心して暮らしていくための医療体制構築に寄与するような充実したネットワークに発展していくものと期待をいたしております。

(内容から一部抜粋)

記者会見後、理事会、平成 24 年度通常総会が開催されました。

通常総会では、運用報告、次年度の事業計画、役員改選等についての協議が行われました。





# HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



これからの「医療」を  
考えています。

Empowered by Innovation

**NEC**

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

NECの地域医療連携ネットワークサービス

まずはWebで、詳細情報を。

NECの地域医療連携

検索

[www.megaok.com/](http://www.megaok.com/)

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ  
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL. 03(3798)6756

人と地球にやさしい情報社会へ

<http://www.nec.co.jp/>

Good Health Creator, MEDical+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤として  
ヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災に被災された皆様に対し謹んでお見舞い申し上げます。  
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



事業内容

- 臨床検査  
(生化学的検査・血液学的検査・生化学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 予防医学関連サービス
- 医療関連サービス
- 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入
- 医薬品・化学品の毒性試験、薬物薬理試験
- ヒト細胞による薬効・毒性評価
- 遺伝子・タンパク質解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境/リスク評価サービス
- 食の安全サポート
- ドーピング検査

三菱化学メディエンス株式会社

〒108-8559 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
TEL.03(6722)4000(代表)

あじさいネットは、会員様をはじめ、様々な方々のご協力により、運営されています。

## あじさいネット入会方法のご案内

### 1. 入会

入会申込書を事務局宛に送っていただきます。  
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。  
所属医師会が入会していない場合は、入会金が **50,000 円** 必要となります。尚、初期設定費用として別途 **30,000 円** を承ります。

### 2. 利用料金

月々 **4,000 円** (レセプトオンライン請求も希望の場合は **5,000 円**) と年 **3,000 円** のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。

### 3. 機器の設置

機器設置用ヒアリングシートに必要な事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。  
シートに基づいて専門スタッフ (NTT 西日本ホームテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。

### 4. 運用講習会

利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。

### 5. 同意書と登録

患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。

### 6. あじさいネットポータルサイトへのログイン

アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

\*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。



大角先生、橋本先生は、今回、中面記事にてご紹介しています。詫摩先生いつも楽しい作品ありがとうございます。

### 入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)担当：三浦  
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

## 編集後記

あじさいネット OFF LINE 通信も 1 周年を迎えることができました。当初、年 4 回の発行は難しいのではという声もありましたが、なんとか予定通り発行することができました。その間、取材にご協力していただいた先生方、職員の方々、そして 4 コマ漫画を書いて下さった詫摩和彦先生、また日頃よりご支援いただいておりますメーカー様方にも深く深く感謝いたします。今後もあじさいネットの価値をより多くの方々にお伝えすべく、また、会員の皆様方の声をたくさん掲載していきたいと考えておりますので、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。  
\*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。  
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 ajisai-project@nagasaki.med.or.jp  
最新の情報は、HP をご覧ください。http://www.ajisai-net.org/